

# 平成 22 年度 播磨町水道事業報告書

## 概 況

### (1) 総括事項

本年度の給水業務状況は、給水装置数が前年比で 141 栓増の 14,843 栓、給水人口で 169 人(0.5%)増の 34,353 人となりました。なお、年間有収水量は、25,287m<sup>3</sup> (0.7%)減の 3,635,303m<sup>3</sup> となり、給水装置数が増加したものの、家庭での節水意識の高揚が浸透し、昨年度より微減となりました。

水道施設の構築については新島地区の配水管増設工事、北本荘地区配水管布設替工事を継続施工し、また第 3 浄水場においては、第 2 配水池の受電盤及び変圧器盤等の更新を行いました。

経営状況(税抜)は、総収益が 546,873,227 円に対して、総費用が 553,412,822 円で、当年度純損失 6,539,595 円を計上しました。

水道事業収益の主なものは、水道料金 510,278,209 円で、収益全体の 93.3% を占めています。一方、水道事業費用の主なものは、企業債利息 39,992,167 円(7.2%)、減価償却費 203,967,173 円(36.9%)、職員給与費 58,304,716 円(10.5%)、県水受水費 70,855,200 円(12.8%)、動力費 32,534,550 円(5.9%) で費用全体の 73.3% を占めています。以上の結果、供給単価は 140.37 円、給水原価は 149.19 円になりました。

資本的収支(税込)の総収入額が 72,362,850 円に対して、支出が建設改良費 75,477,971 円、企業債償還金 86,857,223 円で、総支出額 162,335,194 円となりました。なお、不足の 89,972,344 円は、過年度分損益勘定留保資金 89,972,344 円で補てんしました。

以上が、平成 22 年度における経営並びに事業実施の概要であります。今後におきましても、町民に清浄にして豊富低廉な水の安定供給を図るため、水源の確保と効率的な事業運営に取り組み、公共福祉の向上に努める所存です。